

論文作成法 (2単位)

担当者氏名 全専攻教員

◆学習・教育目標

本科目では、各専修関連学協会での発表論文投稿や、学協会および学内での発表におけるプレゼンテーションの準備から発表までの一連のプロセスを通じ、論文投稿時に必要な問題解決能力・論理的思考能力、発表時に必要なプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力など、技術者として習得すべき能力の涵養を到達目標としている。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

地域資源利用	農地環境工学	環境情報学	地水工学
建設システム工学	水利施設工学	農業ロボット工学	農産プロセス工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	発表テーマの選定（第1～第2週）	修士論文の研究方向に即した研究題目の選定	修士論文の研究方向を指導教員と相談し、設定しておくこと。
2	調査・実験結果の整理（第3～第6週）	研究題目に従ったフィールド調査および実験結果の取りまとめ	
3	発表論文の作成（第7～第9週）	関連学協会の書式に従った発表論文の作成	
4	プレゼンテーションマテリアルの作成・発表（第10～第14週）	関連学協会の規定に基づいたプレゼンテーションマテリアルの作成および学会大会等での発表	
5	発表時の質疑応答のまとめ及び今後の課題の検討（第15週）	発表の質疑応答結果の取りまとめおよび研究を進める上での課題の抽出	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

発表論文の仕上がり、プレゼン内容および質疑応答の結果をもって評価する。なお論文の採択は条件としない。

◆その他受講上の注意事項

本科目は、定期的に関講するよりも集中的に行うことで学習効果が向上するものである。また、本科目は関連学協会での口頭発表を前提としているため、履修にあたっては指導教員と十分に相談し、授業計画を決定すること。